

# 南丹市教育委員会会議録

平成 29 年第 9 回定例会

(平成 29 年 9 月 20 日)

## 平成29年南丹市教育委員会第9回定例会会議録

1. 日 時 平成29年9月20日(水)  
開会 午後3時30分 閉会 午後5時00分
2. 場 所 南丹市役所2号棟 教育委員会会議室
3. 付議事件 別紙議事日程のとおり
4. 招 集 者 委員長 武田 義史
5. 出席委員 委員長 武田 義史  
委員長職務代理 高屋 毅史  
委 員 吉田 尋子  
委 員 城戸 貴子  
教育長 森 榮一
6. 欠席委員 な し
7. 事 務 局 教育次長 山内 晴貴  
教育参事 後藤 昌則  
教育総務課長 中川 勇夫  
学校教育課長 山内 紀子  
社会教育課長 寺田 成樹
8. 傍 聴 人 な し

### 日程1 開会

委員長が平成29年南丹市教育委員会第9回定例会の開会を告げる。

### 日程2 会議録作成者の指名

委員長から会議録作成者に中川教育総務課長を指名する。

### 日程3 会議録の承認

### 日程4 報告事項

## (1) 主な行事報告等

(教育長)

■ 8月22日、小・中学校教育課程南丹市研究大会を開催した。

昨年度末の新学習指導要領改定告示を受けて、円滑な移行に向けて移行措置内容等の周知を図り、教育指導上の課題等について協議を行った。

■ 8月24日、市教頭会議を開催した。主に教頭は地域とともにある学校づくりの中心的な役割を担うため、その主旨や内容、実践等について共通理解を図った。

■ 8月25日、南丹市教職員夏季研修大会を開催した。

市内教職員の9割の参加があり、「南丹市の教育」としての教育実践の在り方について、共に学び合う機会を提供した。

研究報告として、殿田中学校ブロック2小1中で進めている外国語教育強化地域拠点事業に係る研究内容のプレ発表、園部中学校の首長部局と協働した新たな学校モデル構築事業における地域とともにある学校づくりの研究発表、さらに幼・小・中各校種代表による実践報告も行い、2学期に向けて教育実践に対する意欲の高まる研修機会となった。

■ 8月28日、平成29年度教育委員会事務の点検・評価意見聴取を3名のアドバイザーを招いて行った。

■ 同日、文科省より受託している不登校支援等推進事業に係る、「第一回支援協議会」を開催した。佛教大学の原教育学部長を委員長として、本市学校関係者、首長部局、また京丹波町教育委員会代表委員を迎え、今後当地域の不登校の子どもたちへの支援の在り方、将来設置予定の適応指導教室の設置目的や役割、在り方等について協議を行った。

■ 8月29日、二学期の市内各小中学校の始業式が行われた。

同日、本市の議会定例会が開催された。9月5日～7日まで一般質問が行われた。

■ 9月2日、本市、教育委員会、人権教育・啓発推進協議会共催の南丹市人権講演会が開催された。

京都外国語大学講師であるジェフ・バーグランドさんによる講演は日本人が普段気づきにくい点も含めて、日本社会における人権意識の在り方について示唆に富んだ内容だった。

■ 9月8日、雨の影響を受けて予定より一日遅れの、園部中学校、八木中学校の体育祭をはじめとして、順次各小中の体育祭・運動会が開催されている。

■ 9月12日、校園長会議を開催した。

再度、地域とともにある学校づくりの在り方について、校園長に周知を図り、全国学力・学習状況調査結果を踏まえた取組や、不登校児童生徒支援協議会の内容、いじめ調査等の結果と今後の取組などについての説明と、取組内容についての共通理解を図った。

■ 9月13日、第1回いじめ防止等対策委員会会議を開催した。

山口委員長を中心にこの間調査してきた1学期の調査、市内小学校におけるいじめ事象の事例報告等を行い、指導助言を受けた。

(2) 平成29年9月議会定例会における一般質問について

(事務局)

資料に基づき報告。

(高屋職務代理)

⑦-1より、地産地消の取組と南丹市の地元産の利用割合が25.4%を超えているとあるが、金額なのか量なのかという視点からみて25.4%なのか。

(事務局)

この数値は京都府が調査を行ったものではあるが、献立品目ごとによって、地元(市内)産の割合を算出したものである。なお米については全て市内産である。

(3) 南丹市教育委員会の後援承諾について

(事務局)

資料に基づき報告。

## 日程5 議事

### 議案第23号 平成29年度(平成28年度対象)南丹市教育委員会点検・評価報告書について

(事務局)

上記議案について、別紙資料により説明。

(高屋職務代理)

「安全安心な学校教育環境整備事業」や、「社会体育振興事業」、「家庭教育支援事業」「講座開設事業(博物館)」について28年度予算額と28年度決算額の差が大きな事業があるが、なぜか。

また、「子どものための地域連携事業」の成果の部分で摩気高山教室が3回とあるが、年間3回なのか。また去年と比較して大きくなっているのか。

(事務局)

「安全・安心な学校教育環境整備事業」については、当初予定していた事業に加え、次年度の予定事業に対して前倒して国からの補助金が確定したため、12月議会で増額補正したものの年度内に執行が見込めなかったことから繰り越しを行ったことによるものである。

「講座開設事業(博物館)」については、当初よりも単価が安くなったり、講座の積み重ねの事業なので小規模になった結果である。

「社会体育振興事業」については、委嘱している「スポーツ推進委員」によ

る事業に基づいて、謝礼の支払いを執行するものであるが、事業数の減や、予定していた事業が実施できなかったことなどによるものである。

「家庭教育支援事業」は学校と幼稚園の、家庭教育学級等の取組に対して支援を行うというものである。

また、「子どものための地域連携事業」については、摩気高山の郷振興会に委託して年間3回行っているが、地域の方々と連携して園部エリア全体にエリアを広げて行っているため規模の大きなものとなってきている。

(高屋職務代理)

「展示会事業」について、事業内容を見ていると展示会ごとに開館日数が異なるのはなぜか。

(事務局)

開館日数については概ね一か月を期間としているが、博物館と郷土資料館の開館日、期間の違いがある。

また、準備期間に担当が作り上げる準備期間と特別展のほとんどは借り物であるので借用期間が相違することから、展示ごとに日数が異なる状況もある。

[採決]

議案第23号について委員長から委員一人一人に諮り、全員一致で承認する。

## 日程6 その他

- (1) 第1回いじめ防止等対策委員会議について
- (2) 瓜生野区、新堂区、熊崎区要望への回答内容について
- (3) 南丹市人権教育講座第3講について
- (4) 南丹市文化祭等について

日吉町郷土資料館「湖底に眠るふるさとの記憶」(9/16～11/26)

文化博物館「麻田浩展」～小さな絵の世界～(9/30～11/26)

- (5) その他

(事務局)

上記報告について、資料により説明。

[次回定例会について]

(委員長)

今後の日程について10月17日(火)学校等訪問終了後(午後3時30分予定)から開催としたいがどうか。

(委員)

委員長から各委員一人一人に諮り、全員一致で同意する。

(午後 5 時 0 0 分閉会)

南丹市教育委員会会議規則第19条第2項の規定により、ここに署名する。

平成 年 月 日

南丹市教育委員会委員長

---

南丹市教育委員会委員長職務代理者

---

南丹市教育委員会委員

---

南丹市教育委員会委員

---

南丹市教育委員会教育長

---

(会議録調製者)

南丹市教育委員会教育次長

---